

海洋学の進歩普及のために

日本海洋学会は、海洋学の進歩普及を図ることを目的として1941年に設立されました。研究会・講演会の開催、学術的刊行物の発行、研究業績の表彰や研究の奨励などの事業活動を行っています。

活動内容

研究発表大会
春・秋の年二回
(春は JpGU 大会と合同)

地域集会、当会主催シンポジウム、
研究会・講演会の開催
学術的刊行物の発行
研究業績の表彰
研究の奨励等の事業活動

会員数	1544 名
うち学生会員数	122 名
団体/賛助会員	52 社/19 社
(2018 年 3 月現在)	

年会費	
通常会員	11,000 円
学生会員	6,000 円
団体会員	24,000 円
賛助会員	40,000 円

学会員特典
+ 学会刊行物の無料購読
+ 研究発表大会における
発表資格・参加費割引
+ メーリングリストによる
各種情報発信・入手
+ 「海の研究」への投稿権

ご入会は下記にご連絡ください

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株) 毎日学術フォーラム内 日本海洋学会事務局

TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555

E-mail: jos@mynavi.jp



日本海洋学会

The Oceanographic Society of Japan

since 1941

<http://kaiyo-gakkai.jp/jos/>

刊行・出版物

論文誌・情報誌

英文誌 **Journal of Oceanography**
査読付き、年6回発行 IF: 2.085 (2018)

和文誌 **海の研究**
査読付き、年6回発行

会員情報誌 **JOS ニュースレター**
年4回発行、学会に関する記事を掲載



<http://kaiyo-gakkai.jp/jos/publications/>

書籍



海はめぐる (地人書館)

大学の講義にも使える海洋学の教科書。自然科学だけでなく社会科学も網羅しています。



海と環境 (講談社)

海と環境に関して、知っておきたい注目の研究成果を読み物的に分かりやすく紹介しています。



海のトリビア 続・海のトリビア (日本教育新聞社)

海に関する雑学が満載。まさに目から鱗のネタの連続。続編でさらに興味深くさらにマニアックに。



有明海の生態系再生をめざして (恒星社厚生閣)

日本の代表的な干潟である有明海。その生態系の現状と、再生に向けた取り組みについて、学会が総力を挙げて著した一冊。



海の温暖化 (朝倉書店)

グローバルな現象である地球温暖化や海洋酸性化によって海洋やその生物、さらには私たちの社会がどのような影響を受けるかについて、最新の研究成果を基に詳しく述べています。

社会に向けた諸活動

海洋教育に関する諸活動

サイエンスカフェや海の出前授業、サイエンスアゴラ・女子中高生夏の学校への出展、教員研修・講習への講師派遣など、海洋教育の充実と、海に関する知識の普及を目的とした様々な活動を行っています。

海洋学の面白さを伝えるために、全国各地の小中高生を対象に、海の専門家である学会員を派遣して、出前授業を行っています。出前授業の申し込みや登録講師、授業内容などの詳細は、学会のHPをご覧ください。

http://kaiyo-gakkai.jp/jos/about/school_visit



海の出前授業 (海洋学会講師派遣事業)

海のサイエンスカフェ



海との関わりを身近に感じることを目的として、一般の皆様（高校生から大人まで）と学会員が、海洋学の最新の研究成果について双方向で語り合う場です。多くのご参加をお待ちしています。

<http://www.jos-edu.net/SciCafe/index.html>

海洋観測に関するマニュアルの整備

様々な組織や人が海の観測を共通の基準で行えるように、様々な観測項目のマニュアルを作製・配付しています。外洋から沿岸までを広くカバーした「海洋観測ガイドライン」は海洋学会ホームページからダウンロード可能です（<http://kaiyo-gakkai.jp/jos/guide>）。沿岸の多様な観測項目を網羅した「沿岸環境調査マニュアル」（右図）は恒星社厚生閣から出版されています。



青い海助成事業

海洋学会員による海洋環境保全に関連した教育・啓発活動に対する助成事業です。海に関する研究会、シンポジウム、ワークショップ等や、環境問題に関する教育・啓発活動（講演会、市民講座、小中学生向けフィールドプログラム等）を対象として、年2〜3件程度の助成を行っています。

研究活動の促進

若手研究者への助成活動

若手研究者の研究活動の促進や国内外の研究者とのネットワーク構築を促進する為に、若手会員が企画する研究集会への資金助成、海外研究集会参加時の渡航旅費の援助、若手研究者を対象とした研究表彰（岡田賞、奨励論文賞）等の事業を行っています。

男女共同参画の促進

男女共同参画学協会連絡会の一員として、女性と男性が共に個性と能力を發揮できる環境づくりとネットワーク作りに従事しています。男女共同参画に関する意識向上や情報共有を目的とした各種イベントの開催に協力しています。